

大野市が東ティモールへ水支援 水への恩返し キャリングウォータープロジェクト Carrying Water Project ～古河桃まつり会場でPR～

姉妹都市の福井県大野市は、北陸の山あい
に積もった雪どけ水が、「清^{しやうず}水」と呼ばれるすみ
きった湧^もき水となって、まちのいたる所に湧く
「名水のまち」です。

大野市は、文化と伝統を支えてきた水の恵
みを世界に恩返しする活動「Carrying Water
Project」を平成27年5月にスタート。アジアで
最も水に恵まれず、5歳未満の子どもたちの死
亡率がアジアで2番目に高い東ティモールへ、
水環境改善のための寄付を集めています。

3月19日には「古河桃まつり」会場で、大野
市の湧き水で入れた東ティモール産のコーヒー
を振る舞いながら水支援の活動をPR。多くの
来場者が熱心に耳を傾けていました。



▲子どもたちが清潔で安全な水を手にすることが
できるようにPR活動をする大野市役所職員
HP<http://www.carrying-water-project.jp/>



8



9

花桃ウォーク

恒例となった「第17回古河まらかの里 花桃ウォーク」が3月26日・27日の2日間行われ、北は北海道から南は九州まで全国から約1,800人が参加しました。

1日目が市内の歴史ある街並みを歩くコース、2日目が渡良瀬遊水地の豊かな自然を歩くコース。参加者は春の日差しの中、桃や菜の花を楽しみながら思い思いのペースで歩きました。

また、26日は渡良瀬遊水地のヨシ焼きが行われていて、黒々とした煙と燃え盛る炎の迫力ある光景を見ながら、ウォーキングを楽しんでいました。

【写真⑩～⑬】



13